



# 2018年3月期 決算説明会

2018年(平成30年)5月24日

## ネツレン

高周波熱錬株式会社



## I 2018年3月期 連結決算の概要

## II 経営実績の推移

## III 第13次中期経営計画の実績と第14次中期経営計画

## IV 新商品・新技術の開発、グローバル事業の展開

1

## 2018年3月期 連結決算の概要

(単位:百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期	増 減	増減率 (%)
売 上 高	43,396	48,980	5,584	12.9
営 業 利 益	3,003	3,656	653	21.8
経 常 利 益	3,589	4,165	576	16.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,834	3,003	169	6.0
R O A	4.7	5.2	0.5	-
R O E	5.0	5.1	0.1	-

## 2

## 2018年3月期 連結決算(単独期間)の概要

(単位:百万円)

	2017年 3月期	2018年 3月期		前年同期比		直前四半期比	
	第4四半期	第3四半期	第4四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	6,135	5,408	5,681	△453	△7.4	272	5.0
IH事業部関連事業	7,057	6,491	8,169	1,112	15.8	1,677	25.8
その他	31	30	33	2	7.5	2	9.0
売上高	13,223	11,930	13,884	660	5.0	1,953	16.4
製品事業部関連事業	551	352	455	△95	△17.4	102	29.2
IH事業部関連事業	807	403	763	△43	△5.4	360	89.3
その他	15	14	16	0	6.3	2	15.9
営業利益	1,374	770	1,235	△138	△10.1	465	60.5
経常利益	1,558	942	1,306	△251	△16.1	364	38.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,324	577	993	△331	△25.0	415	71.8

## 3

## セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2017年 3月期	2018年 3月期	増 減	増減率 (%)
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	20,582	21,282	700	3.4
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	22,689	27,569	4,879	21.5
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	124	128	4	3.2
合 計		43,396	48,980	5,584	12.9

## 4

## セグメント情報(連結営業利益)

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2017年 3月期	2018年 3月期	増 減	増減率 (%)
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	1,602	1,562	△39	△2.5
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	1,342	2,034	692	51.6
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	58	59	0	1.3
合 計		3,003	3,656	653	21.8

## 5

## 比較連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2017年 3月期	2018年 3月期	増減	増減率(%)
売上高		43,396	48,980	5,584	12.9
売上原価		33,147	37,799	4,652	14.0
売上総利益		10,249	11,180	931	9.1
販売費及び一般管理費		7,245	7,524	278	3.8
営業利益		3,003	3,656	653	21.8
営業外収益		673	570	△102	△15.3
営業外費用		87	61	△25	△29.5
経常利益		3,589	4,165	576	16.1
特別利益		232	2,253	2,020	868.0
特別損失		101	1,772	1,671	1,645.7
税金等調整前当期純利益		3,720	4,645	925	24.9
法人税、住民税及び事業税		833	1,078	244	29.4
法人税等調整額		△209	88	297	-
当期純利益		3,096	3,479	382	12.4
(内訳)					
親会社株主に帰属する当期純利益		2,834	3,003	169	6.0
非支配株主に帰属する当期純利益		261	475	213	81.6

## 6

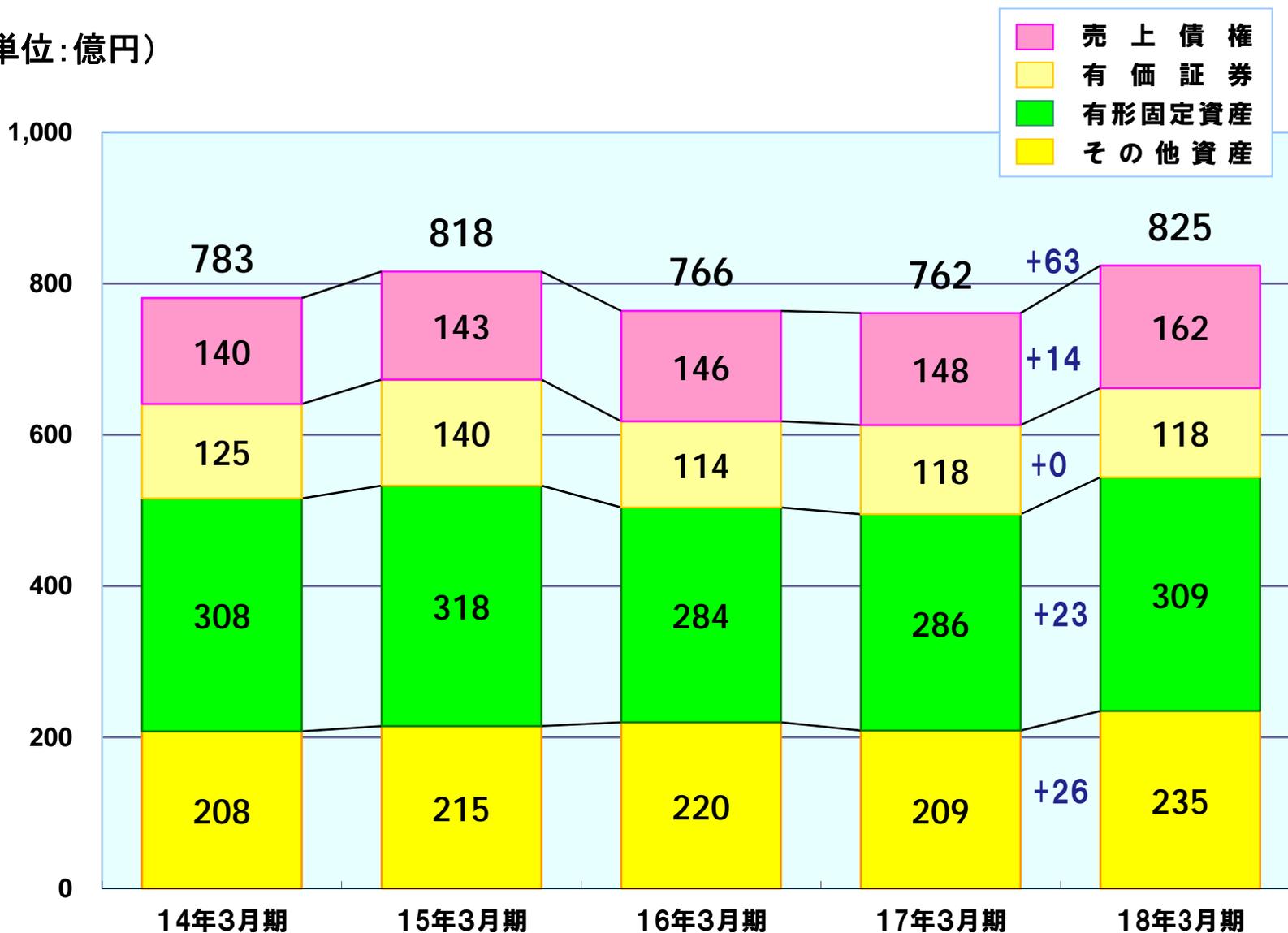
## 連結営業利益増減内容

(単位:百万円)



# 2018年3月期 資産残高の推移(連結)

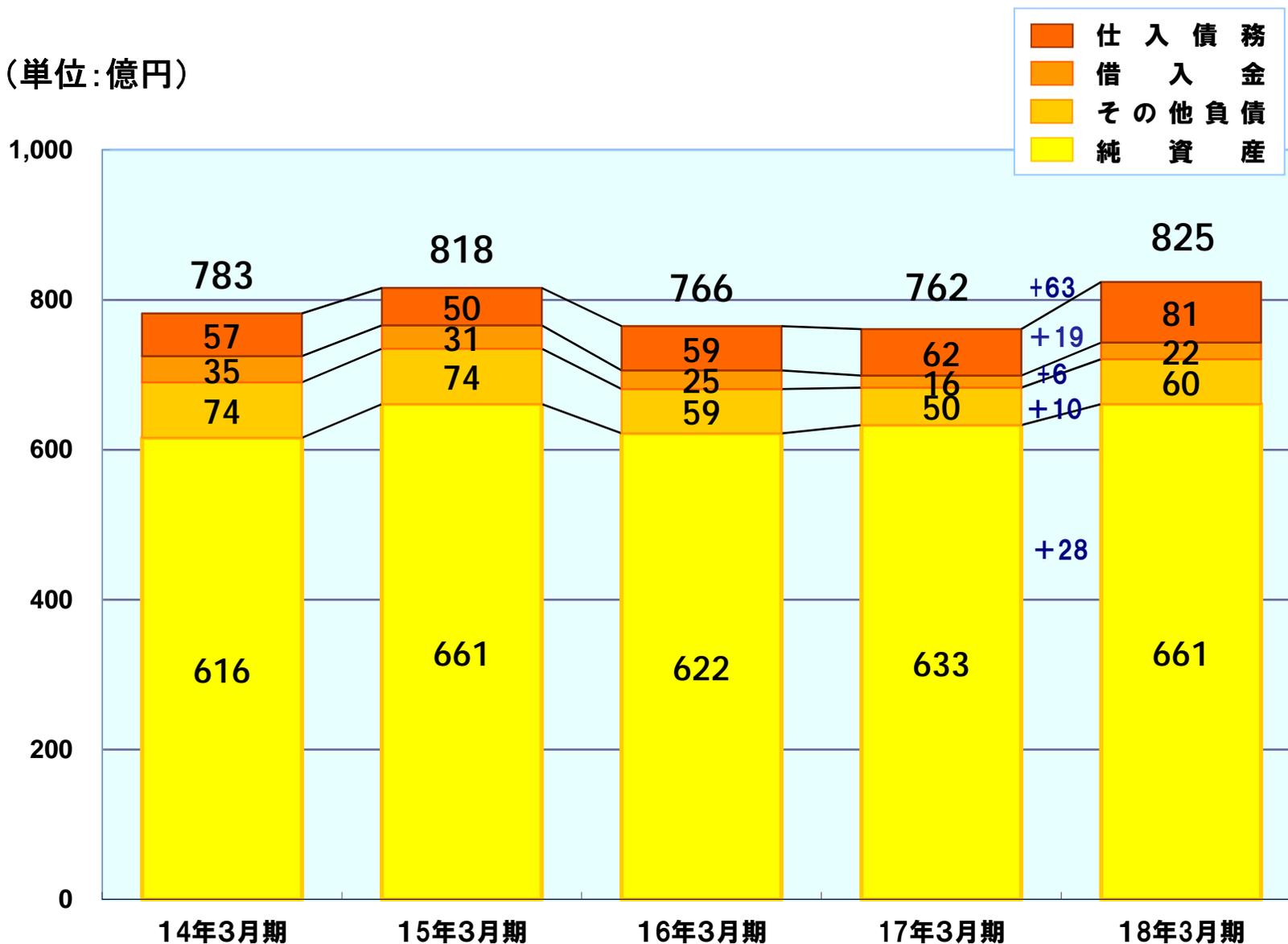
(単位:億円)



8

# 2018年3月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



(単位:百万円)

科 目	2017年 3月期	2018年 3月期	対前年同期比 増 減
税金等調整前当期純利益	3,720	4,645	925
減価償却費	2,739	2,897	157
減損損失	11	1,134	1,123
売上債権の増減	△ 433	△1,067	△634
仕入債務の増減	368	1,764	1,396
その他	△ 1,421	△2,891	△1,470
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,985	6,483	1,498
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,263	△5,880	△2,616
フリーキャッシュ・フロー	1,721	603	△1,118
借入金	△ 861	601	1,462
自己株式の取得	△872	△683	189
配当金の支払額	△ 596	△1,200	△603
その他	△ 258	△87	171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,589	△1,370	1,219
キャッシュ・フロー期末残高	13,098	12,507	△591

## 10

## 2018年3月期 キャッシュ・フロー関連指標(連結)

(単位:%)

	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期
① 自己資本比率	72.1	73.5	73.6	75.5	72.4
② 時価ベースの自己資本比率	35.8	46.4	42.5	49.4	54.1
③ キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.6	0.7	0.5	0.3	0.3
④ インタレスト・カバレッジ・レシオ	78.2	68.2	80.5	126.7	170.6

※各指標の算出方法

- |                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| ① 自己資本比率            | : 自己資本 / 総資産                   |
| ② 時価ベースの自己資本比率      | : 株式時価総額(株価終値 × 発行済株式総数) / 総資産 |
| ③ キャッシュ・フロー対有利子負債比率 | : 有利子負債 / 営業キャッシュ・フロー          |
| ④ インタレスト・カバレッジ・レシオ  | : 営業キャッシュ・フロー / 利払い金額          |

11

# 連結設備投資額

(単位:百万円)

	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期 (予想)
<b>設備投資額</b>	<b>3,088</b>	<b>3,167</b>	<b>4,766</b>	<b>5,000</b>
<b>減価償却費</b>	<b>2,930</b>	<b>2,739</b>	<b>2,897</b>	<b>3,500</b>



## I 2018年3月期 連結決算の概要

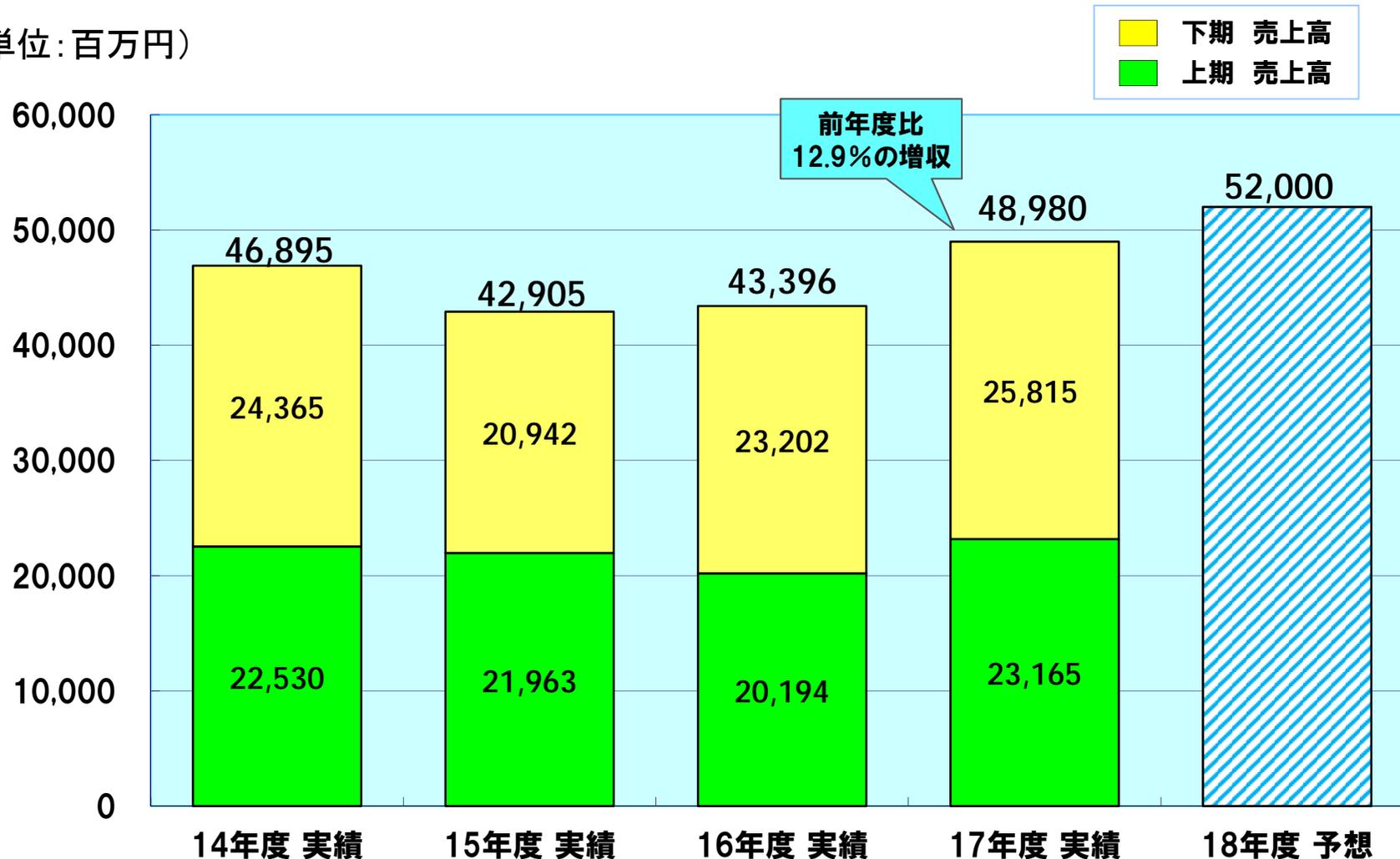
## II 経営実績の推移

## III 第13次中期経営計画の実績と第14次中期経営計画

## IV 新商品・新技術の開発、グローバル事業の展開

# 12 連結売上高

(単位:百万円)



第12次中期経営計画

第13次中期経営計画

第14次中期経営計画

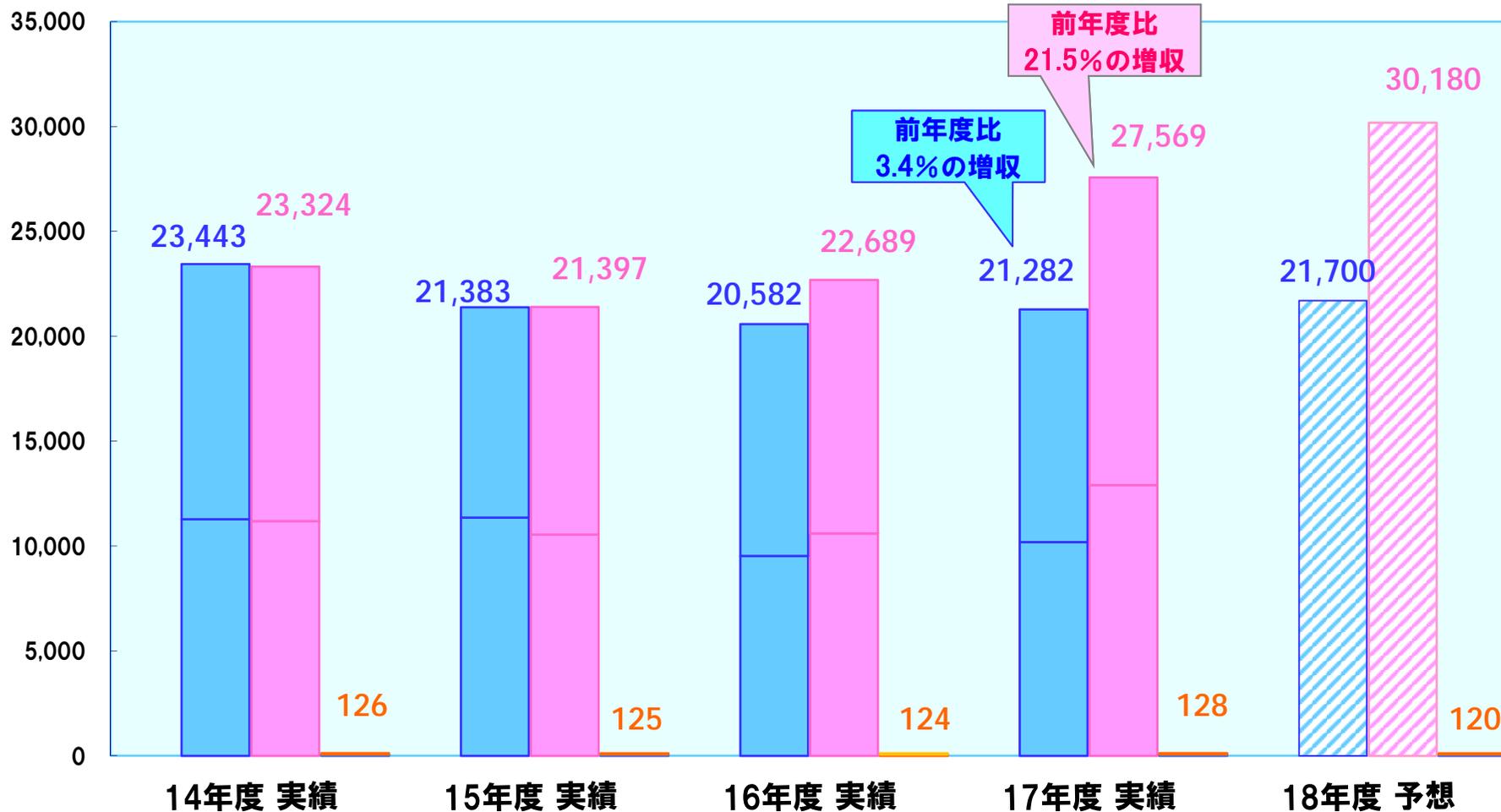
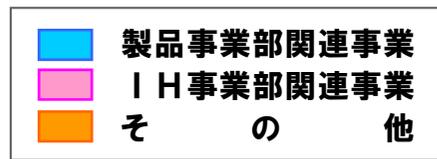
※換算レート ・17年度 1中国元=17.29円、1USドル=113.0円  
 ・18年度 1中国元=16.00円、1USドル=110.0円



# 13

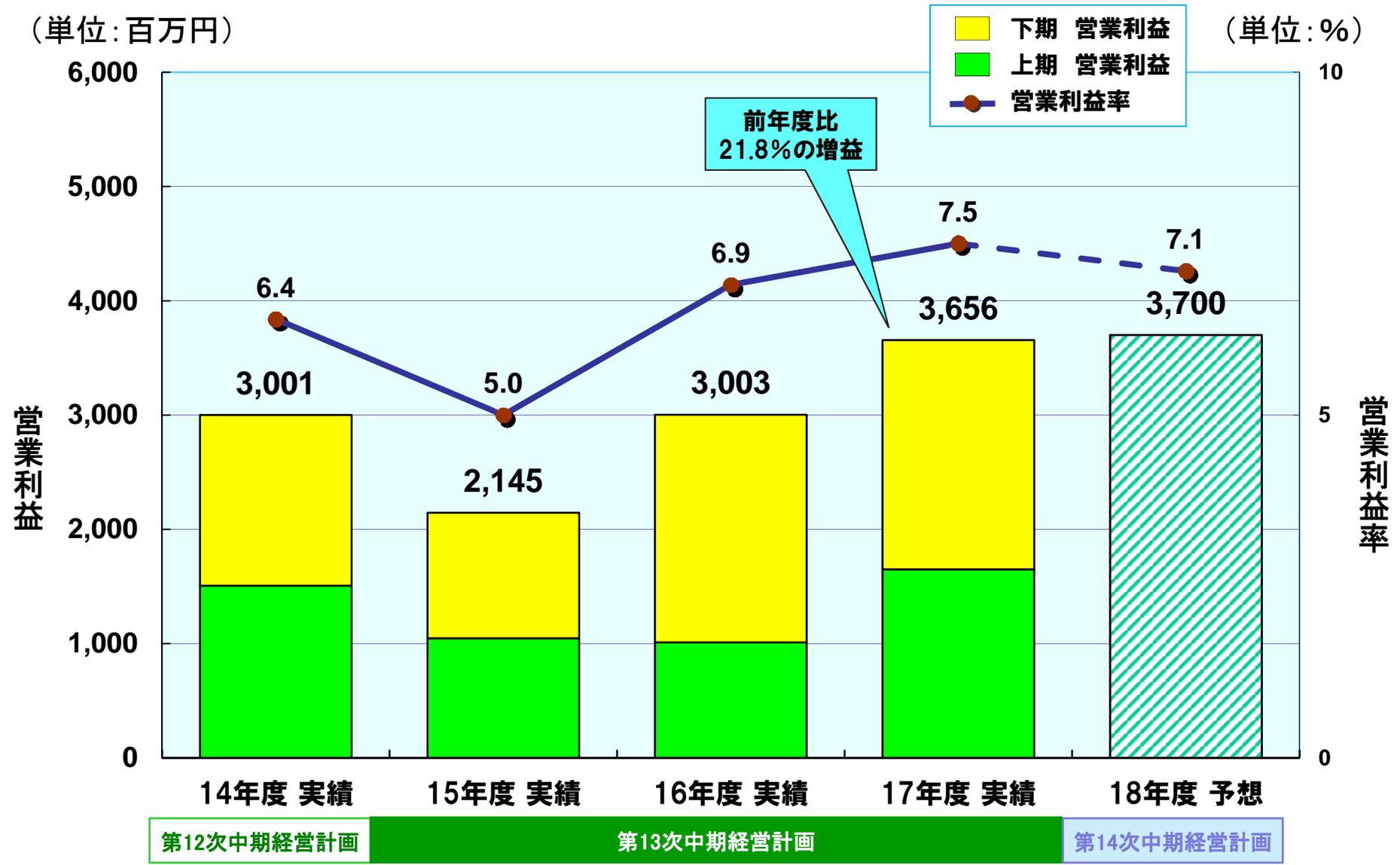
## セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円)



# 14

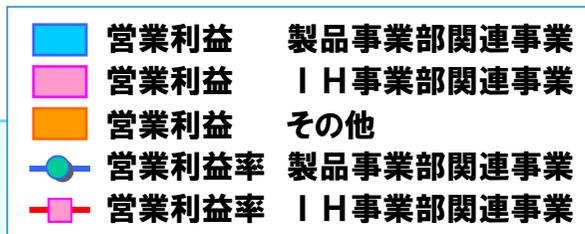
## 営業利益・営業利益率



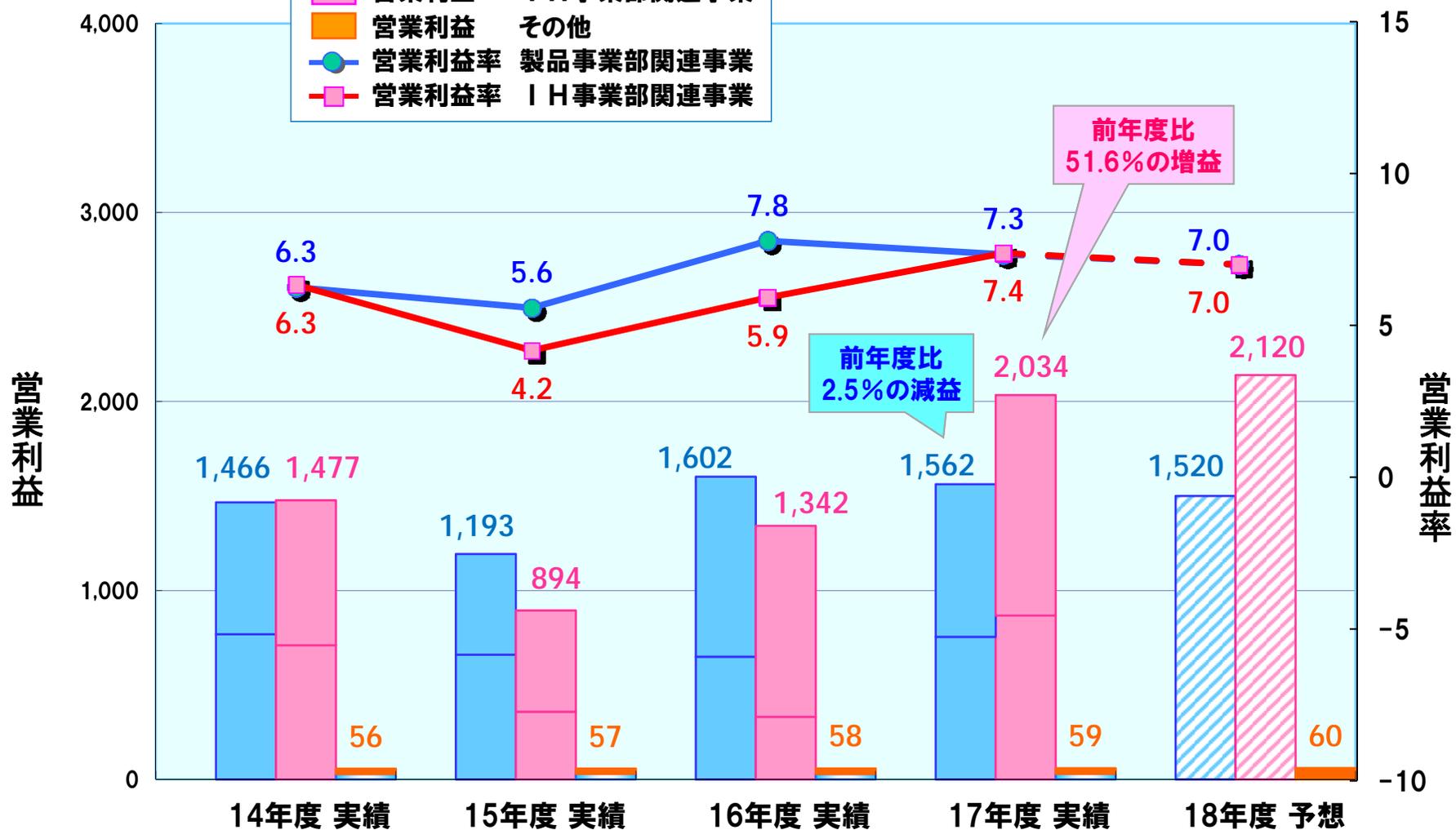
# 15

## セグメント情報(営業利益・営業利益率)

(単位:百万円)



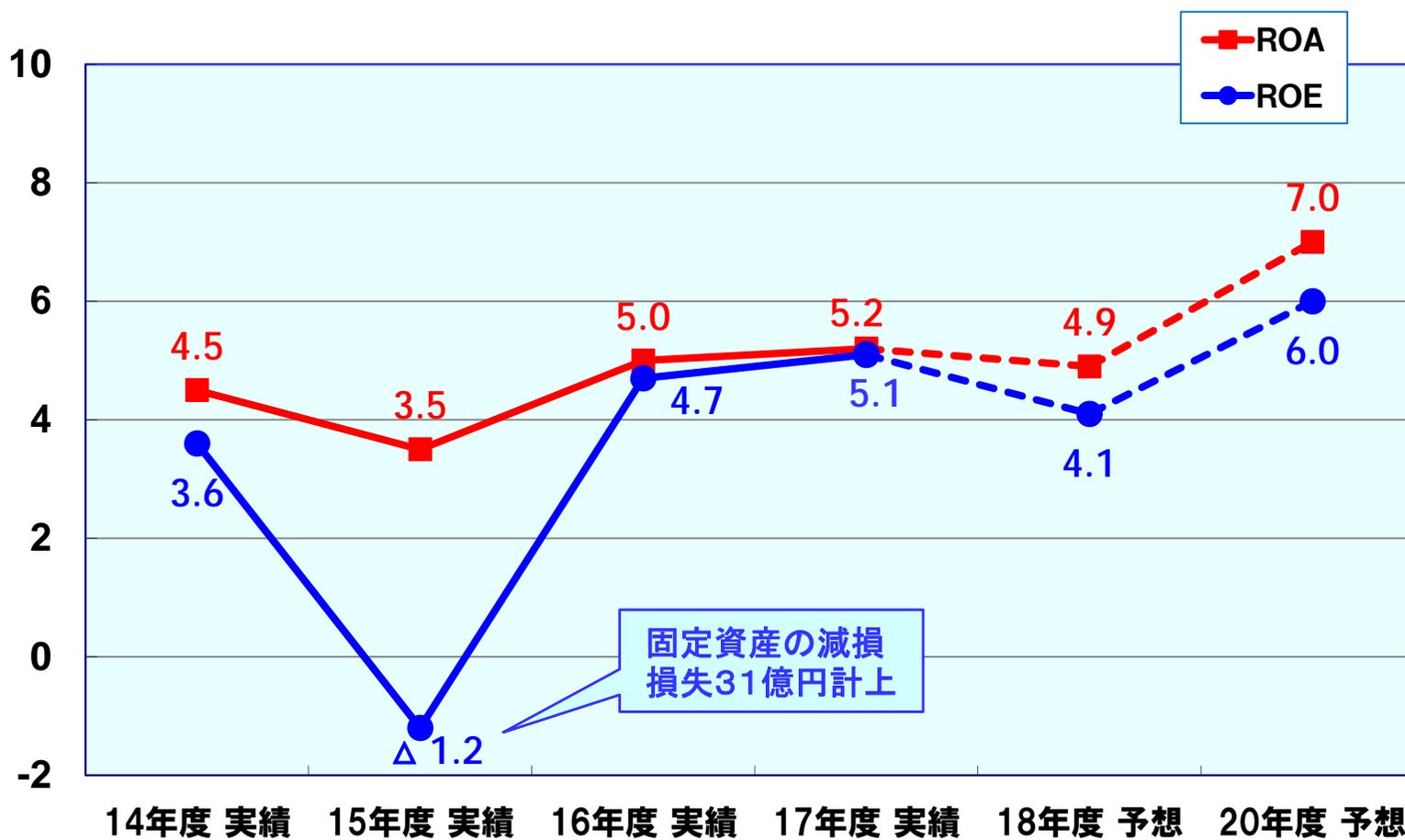
(単位:%)



# 16

## ROA・ROE

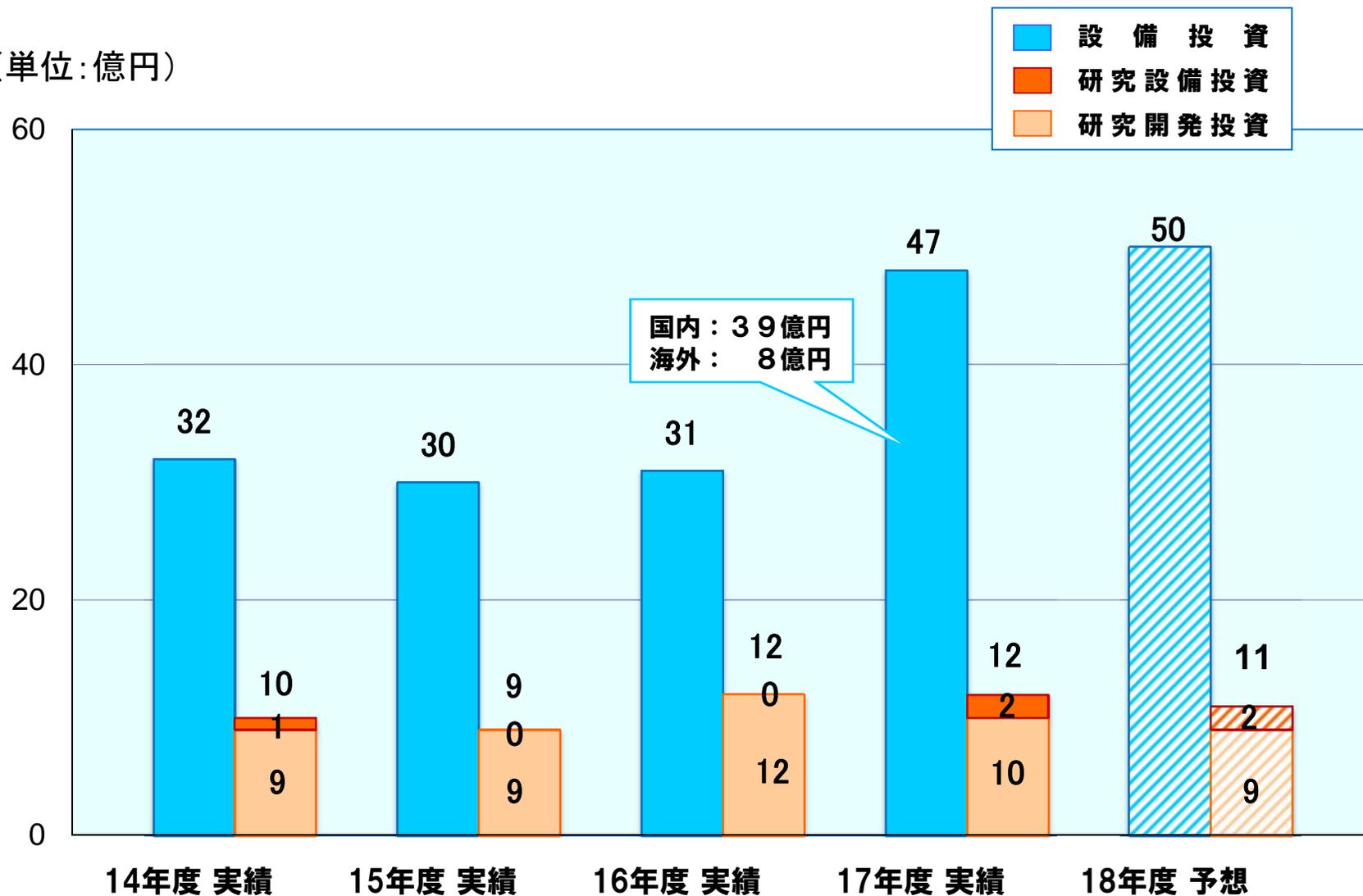
(単位: %)



# 17

## 設備投資・研究開発投資

(単位:億円)



# 18

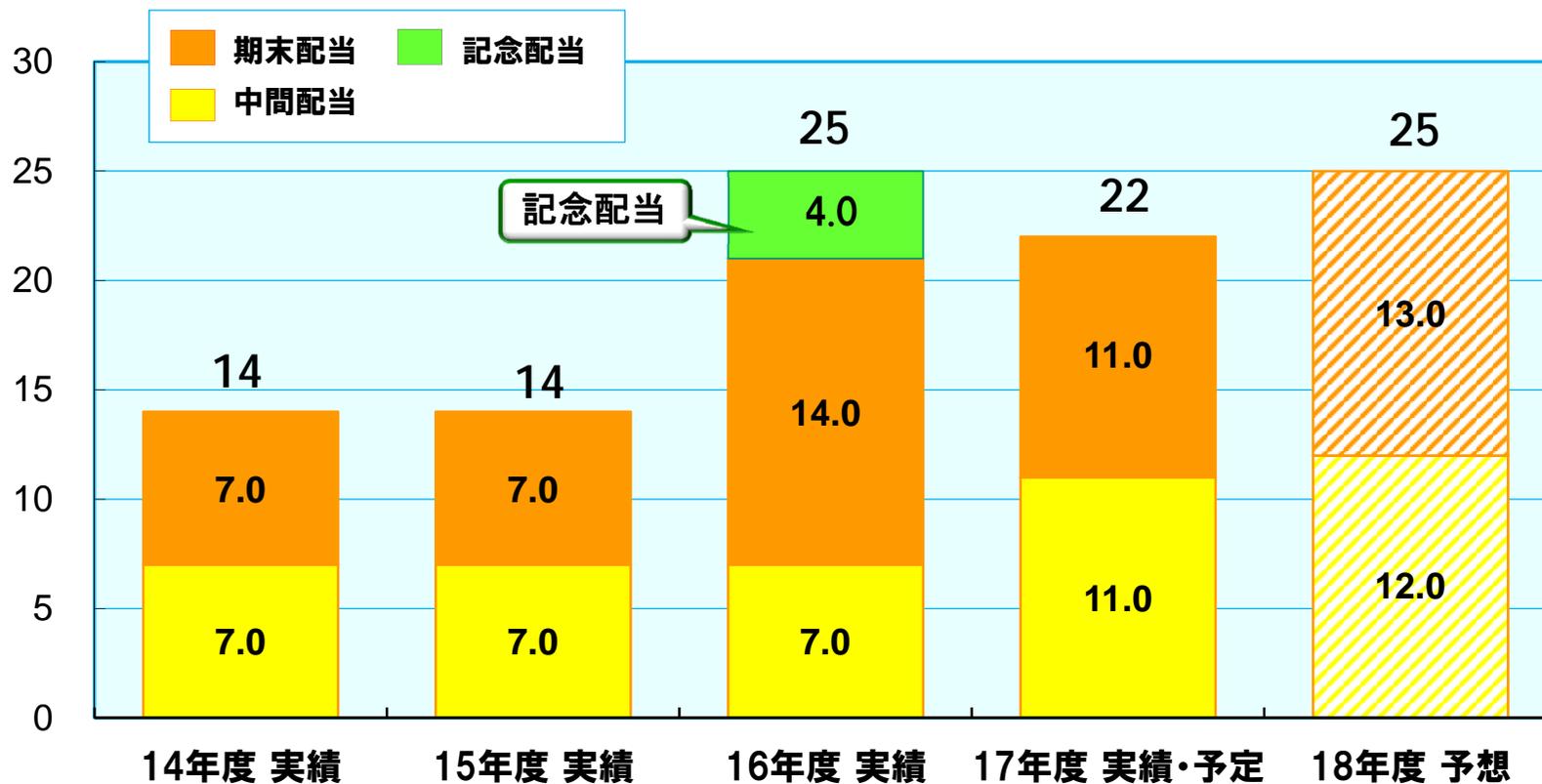
## 配当政策

### 基本方針

「安定した配当」を基本としており、当面、1株当たり年10円を下限とし、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向30%以上を目処としています。

〈19年度3月期より連結配当性向40%以上に変更〉

(単位:円)



## 19

## 自己株式の取得

取得対象株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	635,800株
取得価額	682,849,200 円
取得日	2017年9月8日
取得方法	東京証券取引所の自己株式立会外買付取引 (ToSTNeT-3) による買付け

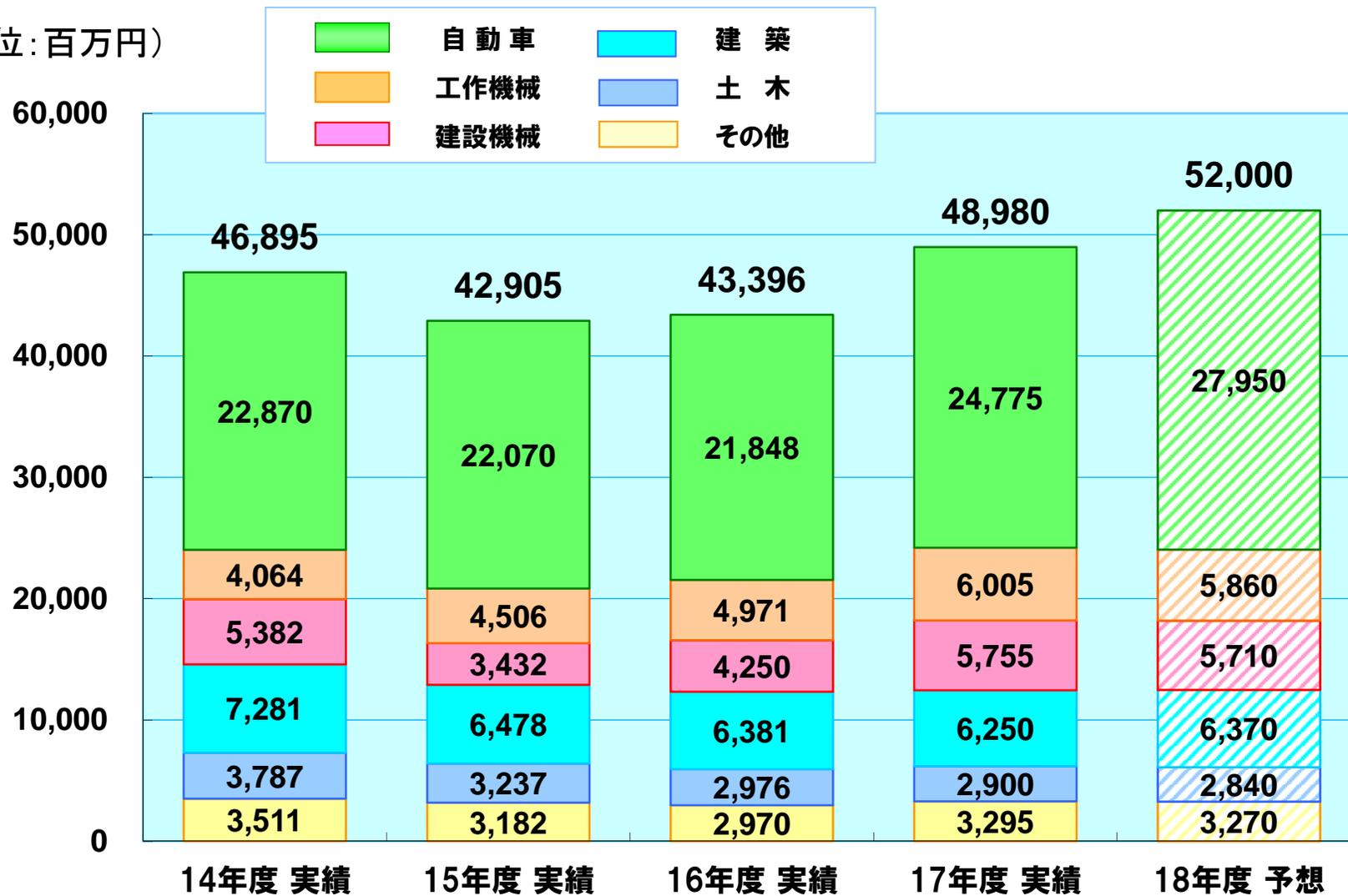
※ご参考(2018年3月31日現在)

発行済株式総数(自己株式を除く)	約 4,100万 株
自己株式	約 278万 株

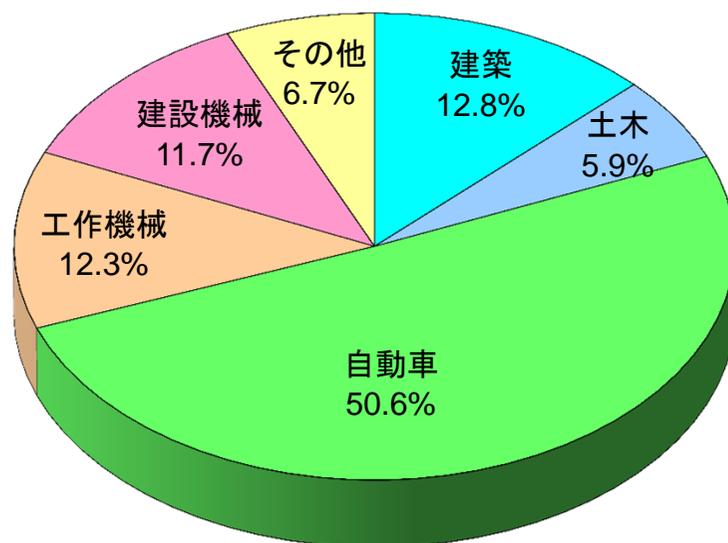
# 20

## 業界別売上高

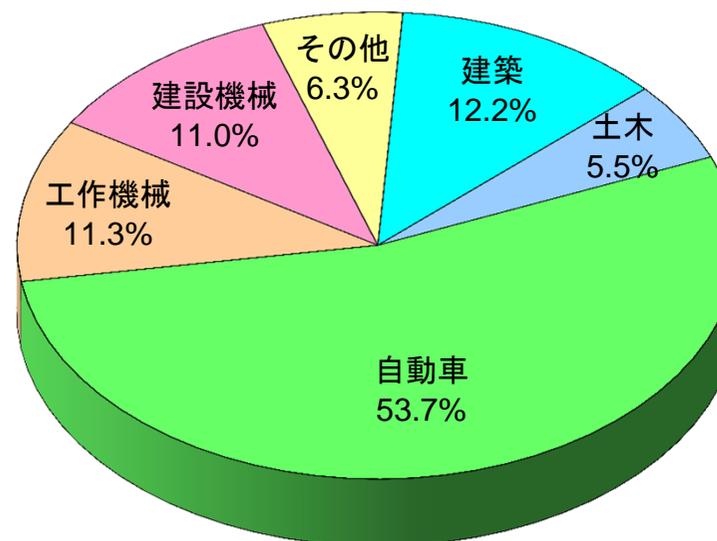
(単位:百万円)



2017年度 実績



2018年度 予想





## I 2018年3月期 連結決算の概要

## II 経営実績の推移

## III 第13次中期経営計画の実績と第14次中期経営計画

## IV 新商品・新技術の開発、グローバル事業の展開

スローガン 「*Global Innovation 70th*」  
 (グローバル イノベーション セブンティース)

設立70周年(2016年5月)を迎えて、「経営」「技術」「生産」  
 「機能」「人づくり」に関する果敢な革新の推進

当社グループを取り巻く事業環境が当初計画立案時から大幅に変化していることをふまえ、昨年見直しを行ったネツレングループ 第13次中期経営計画「*Global Innovation 70th*」に対する実績は以下のとおり。

(連結経営目標)

	見直し後の計画	2018年3月期実績
売上高	460億円	489億円
営業利益	34億円	36億円
営業利益率	7.4%	7.5%
ROA(総資産経常利益率)	5.1%	5.2%
ROE(株主資本純利益率)	5.6%	5.1%

スローガン **「Accomplish V-20」**  
 (アコンプリッシュ ブイ トウエンティー)

[趣旨]

NETUREN VISION 2020 を仕上げ、未来永劫進化する Netzlen を実現するために、第14次中期経営計画をやりぬく覚悟が必要である。

方針と活動目的を肚に落とし、総力を結集して行動することで14次中計を完遂する決意を込めて本スローガンとした。

[連結目標]

	2018年3月期 実績	2021年3月期 目標
売上高	489億円	570億円
営業利益	36億円	45億円
営業利益率	7.5%	7.9%
ROA(総資産経常利益率)	5.2%	7%以上
ROE(株主資本純利益率)	5.1%	6%以上

## 「Accomplish V-20」

### 基本方針

#### 「NETUREN VISION 2020 の総仕上げとさらなる進化の基盤づくり」

VISION 2020 を実現するための4つの基本戦略である「技術革新」「事業創成」「グローバル展開」「人・マネジメントの強化充実」を人とモノと情報がつながった“全体最適”で推進することを徹底し、さらに強化した活動の中で、次世代へのさらなる発展の源泉となる“進化力”を高める。

**第1の柱：** 新技術・新商品・新規事業の迅速な開発と市場投入

**第2の柱：** 現在と将来を担うグローバル人財の確保と育成

**第3の柱：** 安全・品質・CSR活動のグローバル体制の構築



## I 2018年3月期 連結決算の概要

## II 経営実績の推移

## III 第13次中期経営計画の実績と第14次中期経営計画

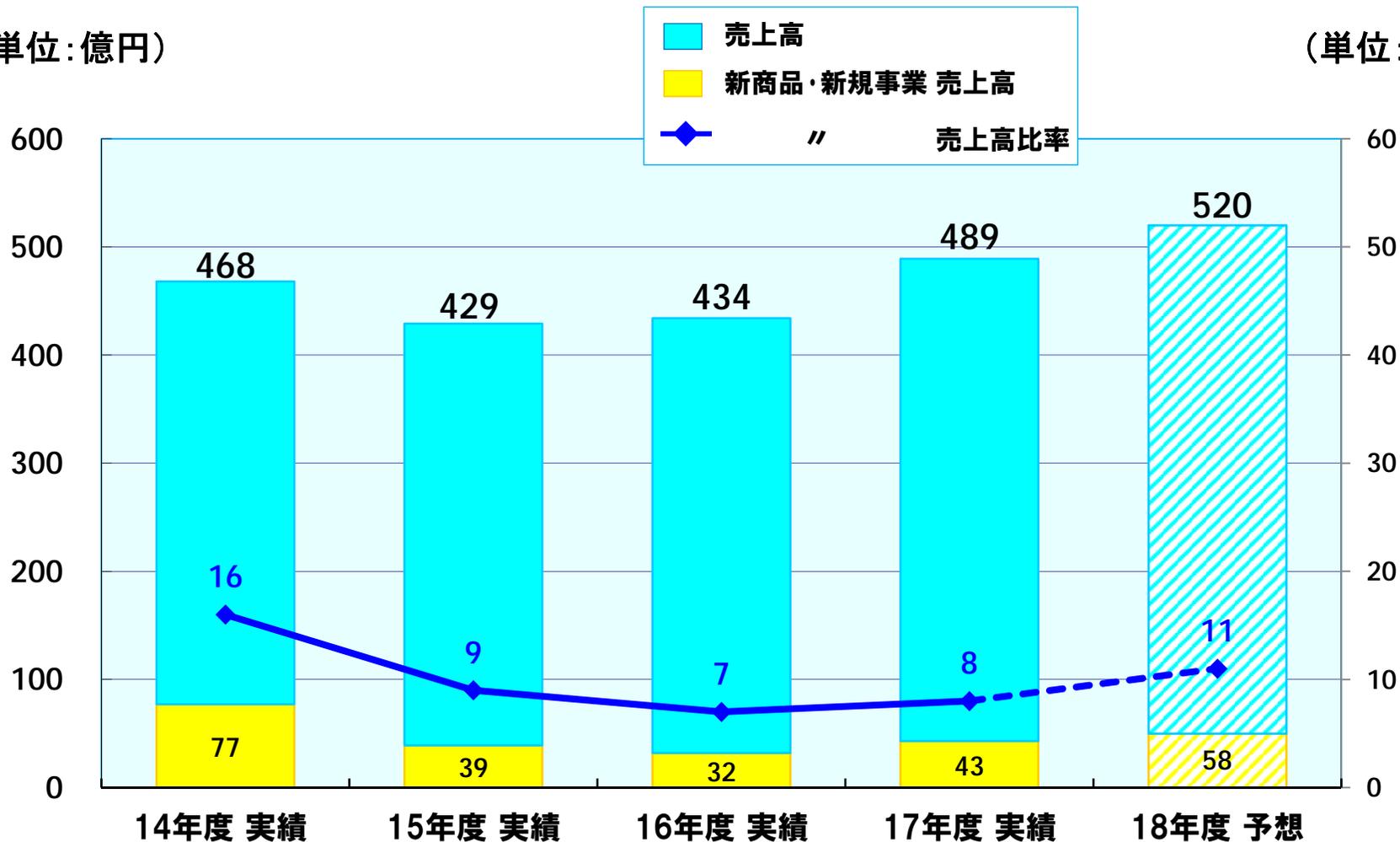
## IV 新商品・新技術の開発、グローバル事業の展開

# 25

## 新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



※新商品・新規事業売上高は、 Netzren 新商品・新規事業売上基準による。

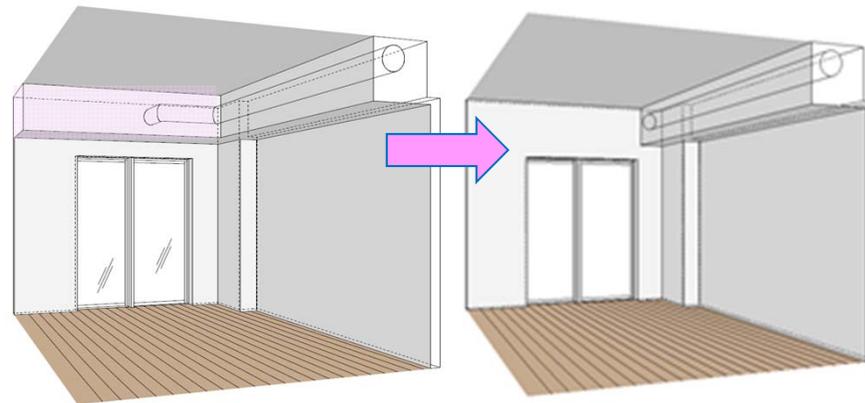
# 26

## 新商品・新技術開発（1） “ダブルスターク”

2018年夏に現場納入を開始  
 「リーフィアタワー海老名アクロスコート」(地上31階免震建物：三井住友建設(株)殿 設計・施工)へ採用

### 【施工性向上と快適居住空間の提供】

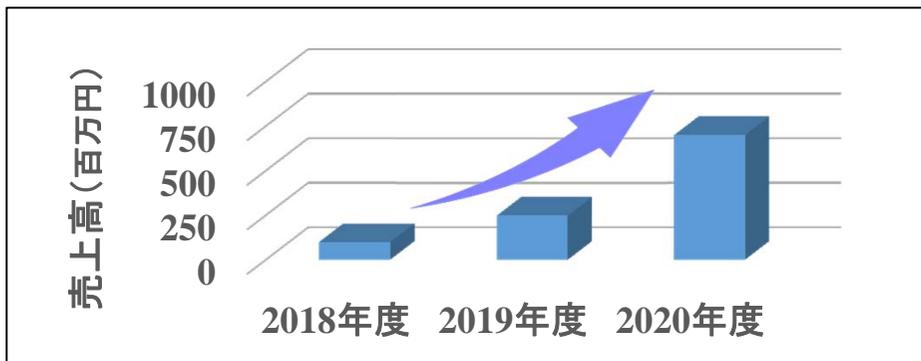
- 1) 従来は、梁の付け根部に開孔は困難。
- 2) ダブルスタークでは、付け根に高強度部分を配置 → 鉄筋の降伏を梁の付け根から離す → 梁に開孔可能 → 広い居住空間。



従来鉄筋での空間

ダブルスタークでの空間

### 【売上高予想】



### 【今後の採用予定物件】

- 1) 神奈川県海老名市 高層マンション
- 2) 千葉県鴨川市 高層マンション
- 3) 東京都江東区有明 高層マンション

27

# 新商品・新技術開発(2)-1 “マイルド浸炭”

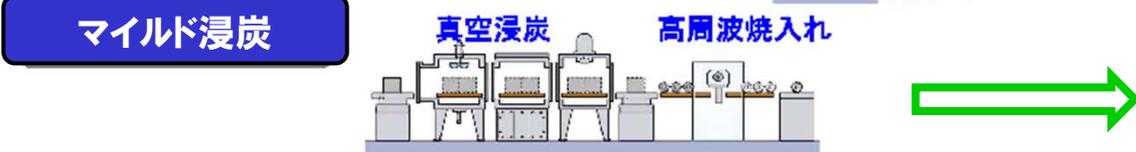
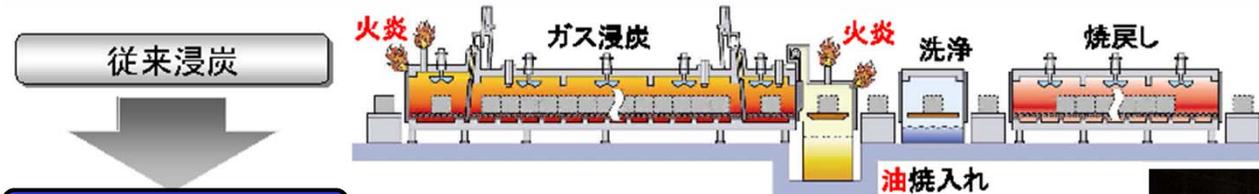
## 【マイルド浸炭】概要と革新性



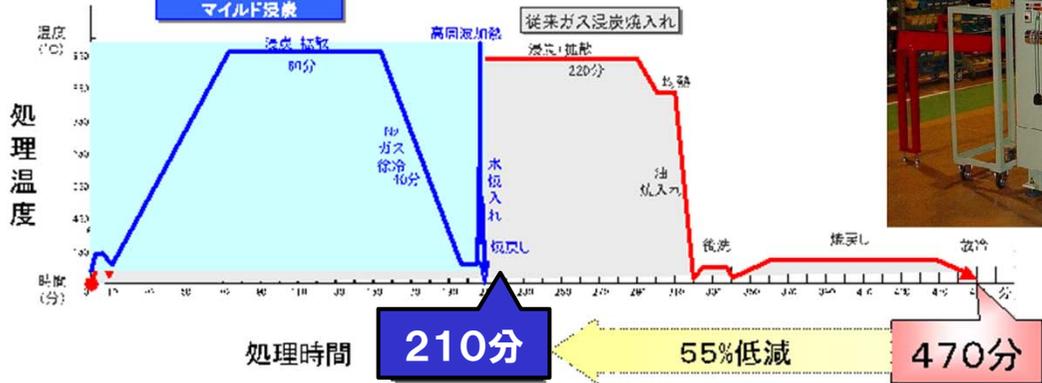
(アイシン・エイ・ダブリュ殿  
開示ご承認済)

火炎、油を必要としない環境にやさしい革新熱処理

- CO<sub>2</sub> Δ 40%
- 処理時間 Δ 55%
- ライン長 Δ 45%
- 低コスト
- 低変形
- 安全
- フレキシブル



熱処理  
条件



マイルド浸炭用の  
 Netzren製「コンパクト焼入れ機」

## ① 新熱処理工法により6速AT(オートマチックトランスミッション)→8速に性能向上

高用量FF車用6速AT



高用量FF車用8速AT



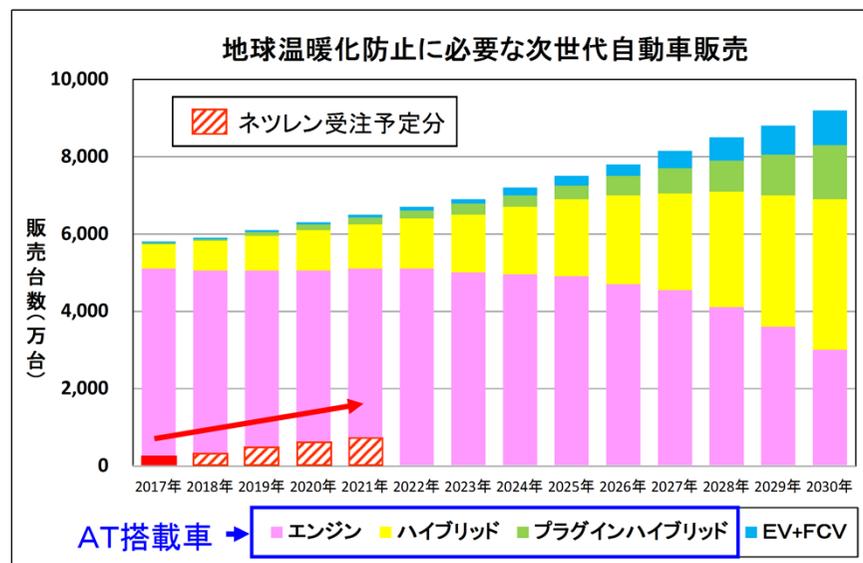
出展:アイシン・エイ・ダブリュ(株) ホームページ

自動車の燃費改善と静粛性の要求から  
ATの多段化が進められてきた



新熱処理工法により歯車を小型化し  
高容量8速ATでも使用可能となった

## ② 地球温暖化防止に必要な次世代自動車販売予測とネツレンのAT用歯車部品受注



出展:デロイト・マツコンサルタント資料データ

今後、EVが増えるとの予測もあるが  
ATはハイブリッド車やプラグインハイブリッド車にも搭載されており、今後も数量は増えていくと予測されている

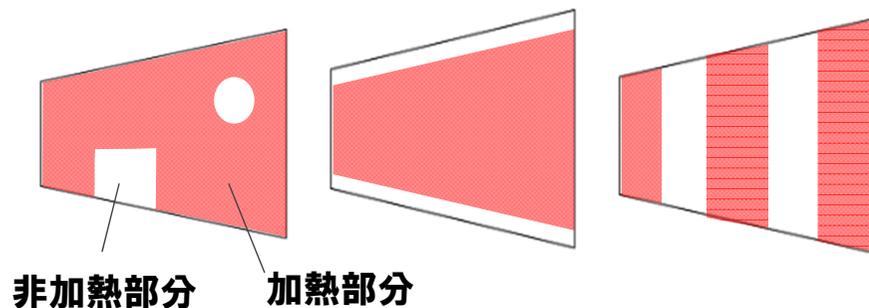


今後、ネツレンのAT用歯車部品は  
高容量8速ATの普及と共に増産予定

DH(直接通電加熱)を用いて焼入硬化部を任意に設定できるホットプレス部品の製造を可能にし、新たな発想による自動車骨格材の設計と製造を実現する技術

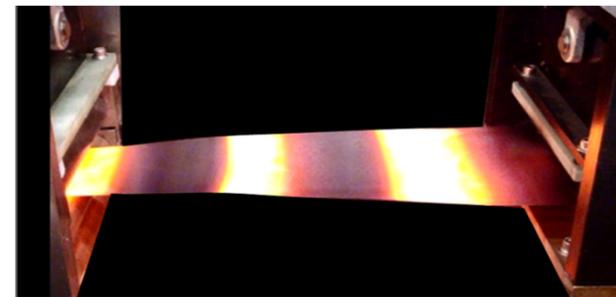
## 1. ネットン独自のDHシステム

- ・ 幅の異なる板材を均一加熱
- ・ 必要な部位を焼入硬化できる部分加熱

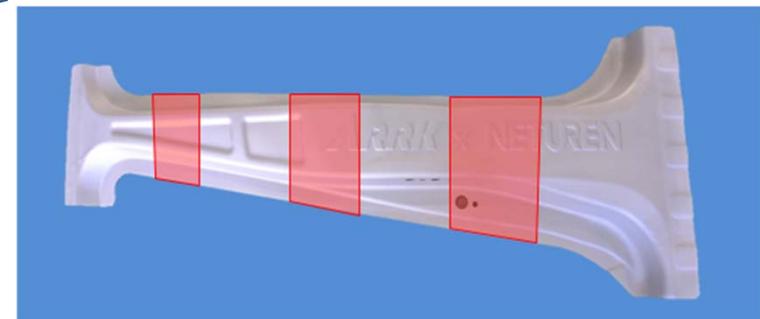


次世代の自動車軽量化ニーズを実現する  
ホットプレスへの適用拡大に向けて開発中

DH加熱のソリューションを事業化へ



ホットプレス  
(プレス加工+硬化)



縞状部分硬化したセンターピラー部品  
(株)アーク殿と共同開発)

# 30 新商品・新技術開発 (4) “IoTの活用”

## IoT (Internet of Things) ・ AI による製造支援システムの開発 (設備に付加して販売を検討中)



2017年より茨城工場に  
導入・テスト開始

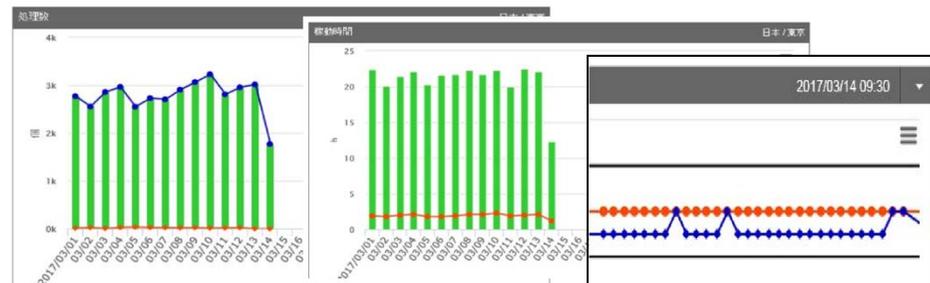


インターネットを利用して  
稼働データを収集



メンテナンス  
遠隔監視サポート  
焼入れ支援

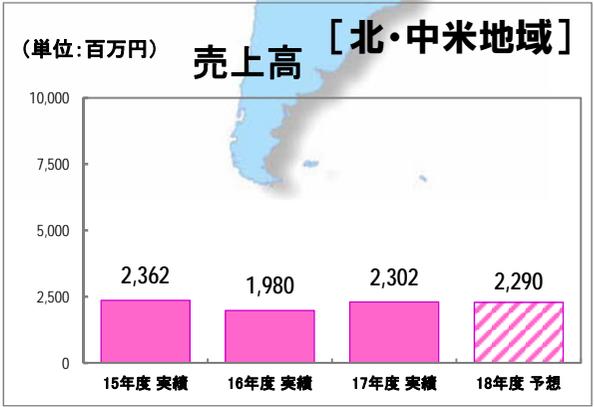
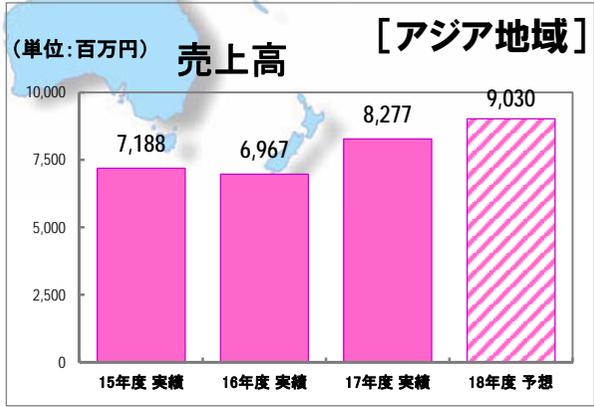
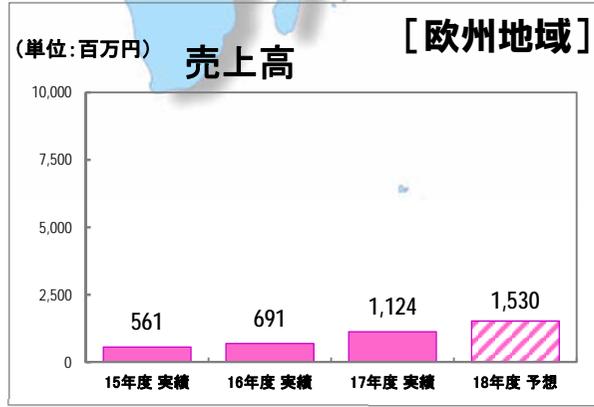
AIを利用した  
焼入れ条件の  
最適管理  
(品質/設備)



# 31 グローバル事業の展開

## “海外事業展開の状況”

6カ国 10社（子会社）



※グループ内取引を含む。  
※日本からの輸出は含まず。





**(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。**